



高津ハンドボール

現役を応援する
↑
クラブ旗を製作

現役に補助金を贈呈→



2020/8/1 八尾高校との練習試合

71期, 山本一平, ハンドボールに出会って

高津高校男子ハンドボール部 71 期主将の山本一平と申します。このような機会を頂き大変嬉しく思います。現役生並びに OB の方々、コロナ禍で大変な状況ですが、少しでもお力になりたく寄稿させて頂くことにしました。拙い文章ですが、どうか最後まで読んで頂けると光栄です。

まず私が高校でハンドボールを始めたきっかけは、中学時代からの友人であった同じく 71 期の佐小君からの誘いでした。それまでは野球を続けるか、新たにテニスを始めるかなどと考えていましたが、ハンドボールの体験に参加した際に見た迫りに圧倒され入部を決意しました。初心者ではあったものの、ボールを投げるということは小さい頃から経験していたため、自分でも大きな成長を感じながら日々の練習に取り組むことが出来ました。そうして先輩方が引退し自分たちの代になった際、有難いことに主将を任せて頂けることになりました。昔からの負けず嫌いであったため、せっかく部活に入ったなら何か結果を残したいという思いが強く、"中央大会出場"という大きな目標をチームとして掲げました。71 期の選手は皆んな個性や我が強く、時には少し不穏な空気の中練習したこともありました。そんな中でも河野先生を始め、OB の方々や同期の支えもあり、最後の大会では目標であった中央大会に出場することができました。中央大会では箕面高校に大差で敗北しましたが、自分の中では悔しさよりも満足感の方が大きかったことを覚えています。この時にはもう大学でもハンドボールをすると決意していました。

そうして引退した後、本格的に受験勉強を開始しました。1,2 年生の頃から定期テスト対策の勉強をしていたからか、受験勉強を始めてからは順調に成績が伸びていきました。その後、晴れて大阪大学法学部に合格し、ハンドボール部に入部しました。

大阪大学でのハンドボールは高校までとは違い、毎日指導

してくれるような監督はおらず、主将を中心に選手自身が練習メニューを考え、実践するという仕組みでした。そこでは、高校の頃には知らなかったハンドボールに関する多くの知識を先輩方から教わり、どんどんハンドボールに夢中になりました。しかしやはり体育会ということもあり、練習内容や上下関係はとても厳しく、同期でも半分ほどが退部してしまいました。そうした中でも僕が続けられたのは、高津高校時代の達成感をもう一度味わいたいという思いがあったからでした。

そうして 1 年の冬を迎えた頃に新型コロナが蔓延し、その後部の活動も停止となりました。チームとして練習はできないものの、個人でランニングや筋トレを行うことは可能だったため、フィジカル強化に励みました。現役生の皆さんも新型コロナにより学校や練習が停止になることもあったかと思えます。しかし大事なことはそうした環境の中で自分ができることを考え、実践することだと思います。こうした状況を不幸だとは考えず、今何が出来るのかを考えて行動することが結果につながります。



写真@大阪府南地区大会: 最前列で表彰状を持っているのが私です。



写真@中央大会 1 回戦後: 最前列右から 3 番が私です。

こんにちは、1987年卒(高校39期)の脇村と申します。
高津高校を卒業してはや35年近く経ちますが未だにハンドボールが好きで好きでたまらない「ハンドボールヲタク」がこれまでのハンドボールとの関わりと、ハンドボールの楽しさや楽しみ方をOB、OGそして現役の皆さんにお伝えしたいと思い寄稿させていただくことになりました。

私とハンドボールのファーストコンタクトは高津高校のハンドボールコートでした。

入学時には他の部活に入るつもりでしたが、同じクラスになって仲良くなった同級生がハンドボール部を見学しに行くと言うのでついて行って、私も友人もそのまま入部することになってしまいました。その友人は数ヶ月で退部してしまいましたが、ハンドボールが楽しいと思い始めていた私は部に残ることにしました。当時、3年生は確か5人ぐらいいましたが2年生が3人、1年生も残ったのは私ともう一人GKの松田君だけで、とにかく人数が少なく練習はきつかったです。

私の入学と同時に赴任された太田正人先生が新たに顧問となって下さいましたが太田先生もハンドボール未経験でいらしたので男子部は主にOBの先輩方が休日など指導に来てくださっていました。現OBOG会長の片岡先輩はじめOBOG会役員の先輩方にめちゃくちゃ鍛えられました(笑)

3年生の時にはキャプテンを仰せつかり、後輩世代の部員も増えて充実した練習が少しずつできるようになりましたが、ハンドボールという競技の原理原則理解や戦略戦術という面では強豪校に及ばない部分が多く、大会では結果を残せないまま高津高校でのハンドボール生活を終えることになってしまいました。

ただ高津高校在籍時からハンドボールが好きで好きで仕方なく、長居球技場が完成しそこにハンドボールができる練習室ができたことをきっかけに社会人の方たちとクラブチームを立ち上げて、部活に加えて毎週金曜日夕方には長居でも練習し、大阪社会人リーグやクラブ選手権にも参加するようになっていました。

そんなハンドボール漬けの高校生活の結果として現役合格できず2浪して神戸大学工学部に入学しましたが、浪人中も気分転換の名の下にクラブチームでのプレーは続けていました(^^)

神戸大学でも体育会ハンドボール部に入部し毎日練習に明け暮れました。春と秋の関西学生リーグに加えて三商戦(神戸・大阪市立・一橋)、八大戦(旧七帝大+神戸)、近国体(近畿地区国立大の大会)などの定期戦もあり夏休み期間には毎年日本のどこかに遠征に行っていました。私の在籍当時の神戸大学ハンドボール部は主に3部で2部昇格を目標とするレベルであり、インカレや国体はおろか西日本インカレすら高い目標ではあったものの、競技成績以外にたくさんのものを得ることができた貴重な時間でした。もちろん大学時代も大阪でのクラブチーム活動は継続しており大阪のハンドボールに関わ

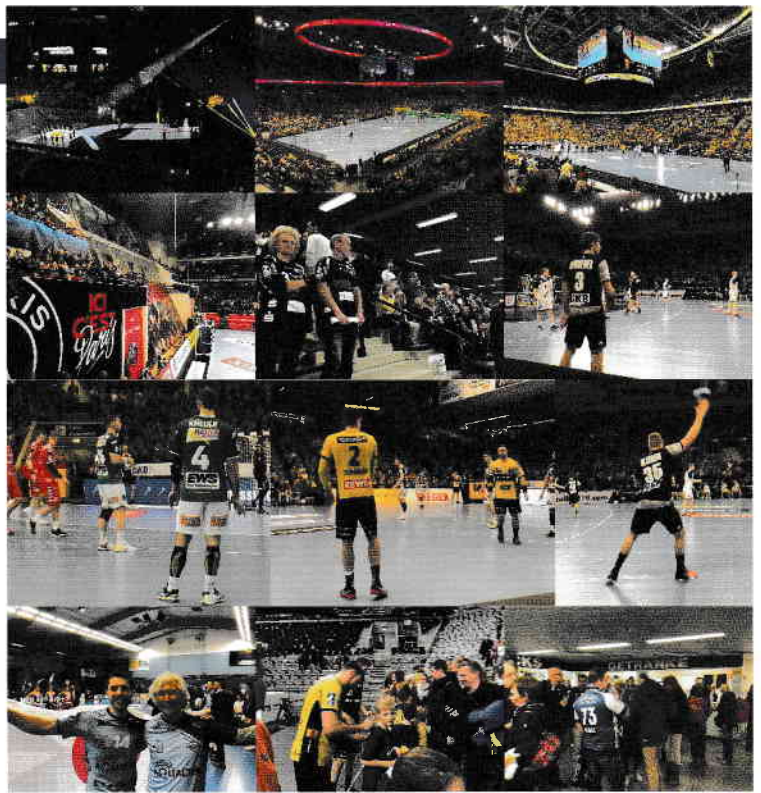


写真: ドイツのブンデスリーガやフランスリーグの試合を観戦!

るたくさんの方々との繋がりができました。

1993年に大学を卒業し就職で浜松に移ることになりました。ご存知のように当時の静岡県はサッカー王国と言われておりサッカーと野球が盛んな地ではありましたがハンドボールのクラブチームがほとんど存在せず、あったとしても地元高校OBチームか教員チームだけでした。無ければ自分で作ろうと動いてはみたものの当時の浜松市協会が機能していなかったり、ハンドボールができる体育館がほとんどなかったり、自分で社会人クラブを立ち上げることを断念しました。

そんな折、勤務先の会社から2年間の大学院国内留学の機会をもらい豊橋技術科学大学の大学院に通うことになりました。入学が決まって真っ先にしたことがハンドボール部の存在確認で、有難いことに29歳で部活再開できることになりました!

当然のように東海学生リーグに登録、参戦し、30歳にして東海学生リーグで得点してます。関東学生リーグの最年長得点記録は元日本代表の宮崎大輔さんだと思いますが、東海学生リーグの最年長得点記録は私なんじゃないかと密かに思っています(笑)

豊橋技術科学大学ハンドボール部が1部、2部の強豪なら大学院生の出場は認められなかったかもしれませんが、当時4部レベルの豊技大に対しては特に学連や他チームからのクレームが出なかったのは幸いでした。

2年間の再学生生活を終えてしばらく浜松でのハンドボールから遠ざかる生活が続きました。プレーするのは年に1度の大学OB戦、数年に一度は高津高校のOB戦にも帰阪していました。

10年ほどそんな期間が続いた後、大学の先輩が東京でクラブチームを立ち上げ東京社会人リーグに参戦するからと

お誘いいただき東京まで試合をしに行っていました。そんな折、とある名古屋のクラブチームに加入することになり、毎月数回定期的に練習ができ、そして全日本マスターズや東海マスターズといった大会に参戦できる環境に巡りあいました。この名古屋のクラブチーム「HC 名古屋」は日本リーグ女子のHC 名古屋をトップチームとする各世代別のチーム階層があり、私はそのマスターズチームのメンバーとして現在も活動しています。同じチームには78歳、75歳などオーバー70の大先輩が何人も選手としてバリバリ試合出場されており52歳の私なぞヒヨッコで痛いとかしんどいとか口が裂けても言えません。こういう大先輩が走って跳んでシュートされる姿を拝見しているとハンドボールは年齢関係なく生涯続けられるスポーツなのだと思えます。

さて、ここまで私自身のハンドボールプレーヤーとしての紹介にお付き合い頂きましたが、ここからはプレーする以外にもハンドボールの楽しみ方はたくさんあるということを紹介させていただきます。

ハンドボール強豪国の一つとしてドイツをイメージされる方は多いと思います。私も学生時代から「ドイツ」という名前に憧れはあったものの、当時は情報が乏しくドイツのハンドボールを目にする機会はほとんどなく、いつかはドイツブンデスリーガのハンドボールを現地で観てみたいと思っていました。

5年ほど前、仕事でドイツ出張に行っていた時、週末にぼっかり時間ができて、「そうだ、ブンデスリーガ！」と思いついて、近辺で試合がないか調べました。滞在していたドイツ西部のアーヘンから鉄道で2時間ほどのゾーリンゲンという小さな町でブンデスリーガ1部の試合があることがわかり、ホテルのフロントの兄ちゃんにドイツ語を訳してもらいながらスマホで試合のチケットを買って電車に飛び乗りました。たどり着いたのは田舎町の小さなアリーナ。試合開始前から地元のじいちゃん ばあちゃん 子供達が我が町のチームを応援しにユニフォーム着てマフラー巻いてアリーナに集まり、お父さんたちはエントランスホールでビールを買って笑いながら立ち話。試合が始まるとホームカラー一色のスタンドから思い思いの声援と野次が飛び、それに応えるようにすぐ目の前でバカでかい選手たちが、日本では見たこともないぐらいの速さと強さで真剣勝負を繰り広げている。

私にとっては夢のような世界でした。夢のようなその場の空気に身を置ける嬉しさと感動で涙が止まりませんでした。日本にもこういうハンドボールの世界を作りたいと強く思いました。

ドイツから帰国してしばらくして、当時フランスリーグ1部のシャンベリーから2部シャルトルに移籍したばかりの土井レイ杏利選手と知り合う機会があり、その後、欧州出張とタイミングが合えばパリ近郊のシャルトルで彼の試合を観戦し、シャルトルの選手だけでなくクラブ社長やスタッフとも仲良くなる中でヨーロッパハンドボールの魅力にますます引き込まれていくことになりました。当時日本のコアなハンドボールファンの中には杏利選手のことを知っている人もいたという程度の知名度でしたが、彼も日本でもっと

ハンドボールの世界を広げたいと思っていて、そのためにどうしていけばいいだろうとシャルトルの街のカフェでふたりでよく語り合いました。

こうしてヨーロッパハンドボールの魅力にどっぷりと浸ってしまった私はフランス、ドイツそしてスペインでも出張に合わせて現地で観戦できる恵まれた立場もあり、コロナ前の数年は年間10試合近くは現地で観戦し、それに合わせて選手、クラブスタッフや現地サポーターとの繋がりも広がって行きました。時には試合観戦後にVIPラウンジに招かれて選手たちと語り合ったり、時にはクラブからプレスパスをもらってコートレベルで選手とインタビューして日本のwebメディアに掲載したりもしていました。

ヨーロッパのハンドボールはとにかくダイナミックでスピーディーです。それは残念ながら日本リーグの比ではありません。ハンドボール経験者であるほどその素晴らしさとすごさが理解できるはず。最近では動画サイトで多数の試合動画が見られますし、ライブ配信される試合もたくさんあります。

特におすすめできるのがIHF competitionsチャンネルとehftvです。IHF competitionsでは東京オリンピック予選のフルマッチ動画やライブ配信などナショナルチームの試合を見ることができます。ehftvは欧州チャンピオンズリーグ(CL)の過去のfinal4フルマッチやCL、EL(欧州リーグ)、欧州選手権(EURO)のダイジェストを見ることができるだけでなく、EL、CL、EUROの多くの試合がライブ配信されますので世界最高峰の試合を、無料で、リアルタイム観戦できるんです！「まーええ時代になったなあ」とおっちゃんと思います。

まずはこれらの動画で世界最高峰のハンドボールに触れてみて下さい。そしてお気に入りの選手を見つけたらその選手のプレーに注目してみてください。もし今もあなたがハンドボールをプレーする機会があるなら、憧れの選手のワンプレーを練習や試合で試してみてください。上手くいくと憧れのあの選手に近づけたような気がしてめっちゃ嬉しいですよ！私も未だにこれやっていますから(笑)

そして間もなく東京オリンピックが開幕します。世界の強豪が日本に集まり、全国各地で事前合宿し東京で相見えます。本命のデンマーク、対抗のスウェーデン、フランス、スペイン。私の一押しドイツ。そして我が日本代表。

幸運にもチケット抽選に当選した私は準々決勝の3試合を現地で観戦する予定です。

皆さんもそれまでに動画をチェックしてお気に入りのチーム、選手を見つけて会場そしてテレビで応援して下さい。

東京オリンピックやヨーロッパハンドボールの動画を見てヨーロッパハンドボールに興味を持ち、現地で観戦したい！と思った方は是非私にお声掛けください。何かご提案できることがあるかもしれません。

もし今後も海外、特にヨーロッパのハンドボールについて書く機会を頂戴できるならポジションごとにおすすめの選手やその特長などもお伝えしたいと思います。

もし今回のこの記事が不評だったら、そんなチャンスは無いでしょうけど(笑)

(39期, 脇村 誠)

第17回 OB・OG会総会 延期か中止のお知らせ

新型コロナウイルス変異株による感染急拡大のため、昨年に続き、OB・OG感謝デーと総会・懇親会を今秋に延期（あるいは中止）することに致しました。開催（中止）決定の情報を下記のQRコード、<http://kozu.handball.iinaa.net/> OB・OG会のホームページとフェイスブック <http://www.facebook.com/KozuHandball> に掲載致します。ご意見や近況等について、メール(kozu.handball.ob.og@gmail.com)あるいは、FAX(072-724-3632)でご連絡ください。経費削減のため会報を郵送するのは各期男女代表1名だけです。同期の方にホームページで会報を見ていただくよう、ご連絡をお願い致します。



現役の練習風景(男子部)

現役の練習風景(女子部)

会費納入のお願い

今年、公式戦で応援の際に掲げるクラブ旗を製作致しました。現役のクラブ活動補助のため年会費と寄付金のご送金をよろしくお願い致します。

大阪府立高津高等学校ハンドボール部OB・OG会役員		
【会長】 片岡純夫 (高23期)	【選任幹事】 中江義雄 (高10期) 渡邊斎頭 (高13期) 許斐建樹 (高14期) 鈴木栄太郎 (高15期) 久岡敏博 (高18期) 稲葉良幸 (高20期) 早島知雄 (高20期) 木村圭子 (高25期) 玉井牧子 (高28期) 山本裕子 (高28期) 太田寛人 (高30期) 西野裕章 (高32期) 村口紀子 (高32期) 藤本一典 (高32期) 高岡政男 (高33期) 古川直樹 (高33期) 吉富規美子 (高34期) 平澤あず (高49期)	【特別会員】 (旧職員) 岡本 昭 今中啓旦 太田正人 門田昌司 前田美穂 大前雅嗣 河野 健 大栗章博
【副会長】 塚正泰之 (高26期) 中野元博 (高26期) 濔口修司 (高34期) 前川義信 (高34期)	【財務幹事】 西野裕章 (高32期) 林 正則 (高33期)	【事務局】 片岡純夫 【会報編集】 中野元博 村口紀子 藤本一典 古川直樹 前川義信
【顧問】 橋本靖雄 (高3期) 福家清美 (高9期)		

全OB・OG(約800名)の皆様に会報を発送するのは、印刷・通信費の負担が重く、第11号より、発送費の不要なWEB掲載を主とし、希望者のみに郵送致しております。ご意見などは、OB・OG会事務局宛にお願いします。

会費納入・寄付金送金のお願い！！

当会を運営するためには皆様の会費収入が不可欠です。また、現役補助費(チーム登録料等)を充実させるには寄付金も必要ですので御協力をお願い申し上げます。

(但し、大学生は年会費が免除されています。)

趣旨に賛同頂き **2021年度会費 3,000円** と **寄付金** の納入を **銀行振込** でお願い致します。

2020年度 決算

2020/04/01～2021/03/31

繰越金収入	2019年度 繰越金	767,795
年会費収入	3,000×23名	69,000
寄付金収入		114,940
総会費		0
現役補助費	チーム登録料、ボール等	▲100,000
会報通信費	印刷・発送費等	▲32,546
事務費	幹事会会場費	▲1,000
雑費	印刷用紙、振込手数料他	▲440
雑収入	銀行利息	11
差引残高	次年度繰越	817,760

三菱UFJ銀行 生野支店

普通預金No. 3999316

口座名[高津高校ハンドボール部OB・OG会 会長 川上貴司]

*銀行口座名は、前会長名で未変更です。

【事務局】〒562-0001

箕面市箕面5-13-53-310

片岡 純夫 方

高津高校ハンドボール部OB・OG会事務局

Tel & Fax 072-724-3632

E-mail: kozu.handball.ob.og@gmail.com